

## 令和3年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

地域産業の担い手であると同時にグローバル社会にも対応できる人材を育成する教育活動を展開し、地域に信頼され、誇りとされる学校をめざす。

1. 基本的な生活習慣やルール・マナーなどの規範意識を身につけた自律できる生徒を育成する。
2. ものづくり教育・工業教育の基盤ともいえる基礎学力を身につけた生徒を育成する。
3. 教職員の資質向上を図るとともに生徒のモチベーションを高め、ものづくり教育を推進する。
4. 社会人・職業人として自立し、豊かな心と人権感覚をもった、社会ひいては世界に貢献できる人材を育成する。

## 2 中期的目標

## 1 豊かな人間性の育成・社会性の醸成

## (1) 人権感覚豊かな心の育成及び社会の秩序・ルールを確実に守る規範意識の醸成

- ア あいさつの励行や遅刻をしないなどの基本的な生活習慣を身につけた生徒の育成に努める。
- イ いじめの予防に重点を置き、安心安全な学校づくりに努めるため、学期ごとに生徒に対しアンケートを実施する。  
※遅刻数について500台を目標として努力する。(H30 601、R01 688 R02 584)

## (2) 美化・清掃活動の強化による規範意識の醸成

- ア 美化・清掃活動に全校で取り組む。  
※生徒向け学校教育自己診断の「校内美化」に関する項目における満足度 (H30 55%、R01 44.4%、R02 66%) を令和5年度には70%にする。

## (3) グローバル人材の育成

- ア ものづくりニッポンを海外に発信する素地を作るため、海外の高校生との交流を図り、グローバル感覚を育成する。  
※海外の複数の高校との交流を推進する。  
※ESDおよびSDGsを意識した教育活動の取組みを推進し、多様な国・校種との交流活性化のためユネスコスクールへの加盟めざす。

## 2 確かな学力への取組みと進路保障

## (1) 基礎学力の定着を図り、進学希望も含めた様々な進路のニーズに応えるため、「主体的・対話的で深い学び」をめざして授業改善に取り組む。

- ア 外部テスト「基礎力診断テスト」を活用し、基礎学力の充実を図る。
- イ 再編整備計画(工科改編)に基づいて、「PBL学習」を推進する。その際にはESDおよびSDGsの趣旨を意識したものと、「キャリアガイダンス」「総合的な探究の時間」や「課題研究」での全校的な取組みを計画的に進める
- ウ 生徒の自己肯定感や自己有用感の向上と「主体的・対話的で深い学び」のために、実社会において有用な資格の取得を奨励する。
- エ 新型コロナウイルス感染症に係る対応として、校内体制を整備しICTを活用した学びを継続して実施する。
- オ グローバル化や情報化が加速度的に進展する社会で、必要となる語学力(英語)の育成に努める。  
※外部テスト「基礎力診断テスト」における最下位層の人数割合を減少させる。  
※生徒向け学校教育自己診断の「学力の向上」に関する肯定度 (H30 74%、R01 68.6%、R02 78%) を令和5年度までに80%以上にする。  
※資格試験の受験者数 (H30 742人、R01 649人、R02 709人)を増やし、合格率 (H30 59.3%、R01 57.8%、R02 63.8%) を令和5年度には65%をめざす。  
※英語技能検定にチャレンジする生徒数 (R1 0名、R2 3級8名、準2級5名)を、令和5年度には延べ20名をめざす。

## (2) 同僚性を高め、積極的に資質向上に取り組む。

- ア 授業アンケート及び相互の授業見学を通して、授業力の向上をめざす。
- イ 各系や教科を中心に経験年数の少ない教員等の学習会や技術力向上等の研修会を開催し、授業力の向上をめざす。
- ウ 英語および数学、実習での少人数展開授業を実施し、生徒の学力定着を保障していく。
- エ 会議等のあり方を検討するとともに、全校一斉退庁日やノークラブデー(部活動休養日)を明確にし日々の定時退庁に努めるなど働き方改革を推進。  
※生徒向け学校教育自己診断の「授業はわかりやすく楽しい」肯定度 (H30 66%、R01 57.8%、R02 74%) を令和5年度には80%以上にする。  
※教職員向け学校教育自己診断における「創意工夫・評価」肯定率 (H30 69%、R1 96%・52%、R2 95%・65%) を令和5年度には共に80%以上にする。

## (3) 生徒の自己実現への支援

- ア 人権教育・教育相談体制の充実並びに支援教育コーディネーター等による要配慮生徒へのサポート体制の充実
- イ 3年間を見通した進路指導の充実
- ウ 保健・安全・衛生管理に関する指導の徹底を図り、食物アレルギー等に係る事故防止や熱中症、感染症、食中毒の予防に努める。  
※生徒向け学校教育自己診断の「進路指導関連」項目の肯定率 (H30 82%、R01 83%、R02 87%) を令和5年度には90%以上にする。  
※3年間を見通した進路・キャリア指導の充実を図り、就職一次内定率(H30 88.4%、R01 82.4%、R02 77.8%)は80%以上を、年度末内定率については100%を維持できるよう努める(H30 100%、R01 100%、R02 100%)。

## 3 ものづくり・地域連携等を通じたキャリア教育の充実と開かれた学校づくりを進める

## (1) 地域産業連携重点型校として、ものづくりを通して地域貢献と保護者との連携により地域に根ざした学校づくりを推進する。

- ア 生徒による校内企業「城工房」や「課題研究」における企業連携等により、地域や地元企業の協力のもと、さまざまな活動を推進する事で地域貢献に努めるとともに地域に根ざした学校づくりをめざす。
- イ 保護者と学校が一体となった学校づくりを行う。
- ウ 小中学校や行政機関・大学と連携した小中学生対象の「ものづくり教室」や「出前授業」等を行い生徒の外部交流への参加や発表の機会を増大する。  
※地元企業との連携と地域へのさらなる情報発信をめざして設立した「城工メッセ」(地元企業紹介イベント等)の充実・発展を図る。  
※保護者のものづくり教育への理解を深めるために、PTAと連携した事業に取り組む。  
※成果発表の場やさまざまな競技会などへの参加回数及び「ものづくり教室」や「出前授業」の実施回数 (H30 30回、R01 32回、R02 0回)を増やす。

## (2) 学校の教育活動内容等をタイムリーに府民へ情報発信し、学校PRに努める。

- ※学校説明会参加者数、中学校教員向け説明会の参加者を延べ350人以上をめざす。(H30 426人、R01 343人、R02 330人)
- ※保護者向け学校教育自己診断「家庭と学校の連携や教育情報の提供」肯定率を令和5年度には80%以上をめざす。(H30 62%、R01 78%、R2 77%)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【学習指導等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(生徒) 学校満足度は76.3%と75%以上を2年連続維持できた。(R02 78.6%、R01 69%)。授業では「入学してから学力が身についた」82.2% (R02 78%、R01 58%)、「わかりやすく楽しい」78.4% (R02 74%、R01 58%)であった。(保護者)「授業が分かりやすく楽しいと言っている」69.3% (58%)と10ポイント向上。昨年度 HR 教室と展開教室にプロジェクターとスクリーンを設置し、教員の約5割近くが活用を試みていることが改善の一因であると考えられる。また、コロナ禍の中でも4月から教育活動が継続できたことも要因と思われる。今後も、授業や教科指導、評価方法について改善をはかり、満足度を向上させていく。</li> </ul> <p><b>【生徒指導等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(生徒) 生活面では「あいさつをしている」92.5% (R02 91.5%、R01 91%)と向上した。第1回協議会の意見を受け、2学期始業式で「質の高いあいさつをしよう」と働きかけたところ、生徒の自覚が高まり成果が出た。「遅刻をしないように意識している」は3年連続96%を維持できている。遅刻指導により生徒の意識が高まっている。「先生はルールを守らない生徒等への注意をしている」88.8% (R02 88%、R01 86%)、「気軽に相談できる先生がいる」77.3% (R02 71%、R01 66%)や、いじめに対する教員の対応では87.6% (R02 83%、R01 76%)と生徒相談・支援面での評価も向上している。「先生の指導には納得できる」74% (R02 74%、R01 70%)であった。(保護者)「指導方針に共感できる」76.7% (79%)であった。進路指導やキャリア教育面については、(生徒)「自分の将来について考える機会は充実している」80% (R02 79%、R01 66%)や、進路指導や資格指導では共に90% (R02 87%)と高い水準を維持できている。生活面での指導等については、教職員が丸となって指導に取り組んでいる成果である。</li> </ul> <p>教育相談の面では(教員)「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている」について今年から教員個人の取り組みについての質問に変更した結果、80.6% (55%)と25ポイント上昇している。個々の教員が心がけている様子はいかがか。同僚性を向上させ、学校全体としても納得感のある生徒指導を行っていく。人数が少ない女子生徒に対してもカウンセリングマインドを取り入れた指導に努め、新入生女子生徒に対しての入学当初の先輩との懇談会開催や教育相談、ケース会議等を実施していく。また女子更衣室の整理などの環境面の整備にも取り組んでいきたい。進路指導面では高い水準を維持できている。今後は昨年度から力を入れて取り組んでいる企業連携事業などを通じてキャリア教育をさらに充実させていく。</p> <p><b>【学校運営等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(生徒)「校内の清掃は行き届いている」72.6% (R02 66%、R01 44%)と6.6ポイント向上。中期目標としていた数値を達成できた。コロナ禍もあり、保健部を中心に、毎朝の放送による消毒等の呼びかけや美化週間の設定などのほか、生徒会のペットボトルキャップ回収の取り組みも清掃に対する取組み意識向上につながったと思われる。生徒の意識向上による目標維持・向上に向け更に工夫をして取り組んでいく。</li> <li>・(生徒)「体育祭や文化祭、部活動などに積極的に参加している」が86% (R02 83%、R01 77%)であった。今年度もコロナ禍の影響で行事は体育祭のみとなり、その分意欲的な活動になったのではないかと。特別教育活動部や学年団を中心に、球技大会の開催や文化部 Week による発表の場を新たに設定したことも、生徒肯定度につながったと思われる。学校行事・部活動は有意義なものであることを再確認し、より効果的な活性化の方法を工夫していく。</li> <li>・(保護者)「教育情報について、提供の努力をしている」79.5% (80%)、「家庭と学校の連携がしっかりしている」は75.3% (76%)であった。(教員)「必要な情報について周知に努めている」76.1% (81%)となっている。Gメール登録による一斉配信体制を構築し運用しているほか、SNS の運用も開始したが、まだ利用率が向上していないこともあり、保護者の肯定度の向上につながっていない。配信内容が緊急連絡用であるためと思われるが、今後、運用内容についても検討する。</li> </ul>	<p>第1回 (令和3年6月23日)</p> <p>○R3 年度学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めざす学校像は校訓にあたる内容になっており良い。ものづくりを学ぶ工科高校だからこそチームでのものづくりをする授業を通して仲間に対する思いや安全について学ばせてほしい。</li> <li>・進路保障を目標に挙げていることは良い。進路保障をするためにはしっかりした学力をつけることが大切である。学力をつけるためには、先生方の地道な努力が必要なので頑張ってください。</li> <li>・学力については1年生から2年生、2年生から3年生とどれくらい伸びたかをテストを工夫して本人や教員が見えるようにすることが大切と思う。</li> <li>・工業の資格だけでなく 英語検定にも取り組んでいて良いと思う。保護者にもどんな資格があって、申し込みや試験の日がわかるように HP などに載せてほしい。これにより、家庭でも資格取得を子供に促すことができる。</li> </ul> <p>○新入生アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験において他の公立高校(工科以外)と迷った生徒が令和2年度入学生と比較して増加している。工業離れが懸念されるが、ものづくりの魅力をしっかり指導してほしい。安全教育についてもしっかり指導してほしい。</li> <li>・コロナ禍で外部の人との交流機会が少ない、クラブの活動制限などの影響だと思うが、以前に比べて挨拶をする生徒が少なくなったような印象を受けた。人間性や社会性の育成には挨拶が大切だと思う。学年の活動やクラブ活動を通じて生徒たちにあいさつの大切さを伝えてほしい。</li> <li>・目的意識やモチベーションをしっかりと持っているがおとなしい生徒も見受けられる。生徒たちの熱量をあげ、より活気のある学校づくりをしてほしい。その際にはぜひ、褒めて生徒を育ててほしい。</li> <li>・1年生で全員受験している計算技術検定(4級)の合格者が多いことは素晴らしい。引き続き指導をお願いしたい。</li> </ul> <p>第2回 (令和3年11月2日)</p> <p>○学校見学会、外部イベントのワークショップ等の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDG s の取り組みなどで生徒が学校内外で活躍している様子がよく分かった。生徒の目線でも検討してよりいっそう生徒が意欲をもって取り組み成長できるようにしてほしい。</li> <li>・中学校との連携のフリースクールや学校見学会での生徒の発表(説明)などは、継続して実施してほしい。</li> <li>・教員用 chromebook 端末を早期に全教員に配布することが望ましいが、予算のこともあるので計画的に進めてほしい。生徒端末の授業等での活用は工夫して進めてほしい。</li> <li>・広報の情報発信では、SNS 活用しておりよいと思うが、動画の配信も検討してはどうか。工科高校なので実習など動きのあるものが多くあり、効果のある広報ができるのでは。中学生への実習体験を検討してはどうか。</li> <li>・先日の体育祭では、生徒が伸び伸びと競技に取り組んでおりよかった。体育祭の進め方などは生徒が案を出し教員と相談しながら進めたとのことだが、今後も生徒の自主性を大切に教育を進めてほしい。</li> <li>・来年度から総合的な探究の時間が導入されるが、生徒の進路として就職が主な工科高校にとっては、チャンスだと思う。生徒が自ら考えものづくりをする授業づくりをお願いしたい。</li> <li>・保護者代表の委員より、就職先も決まり子供は3年間で随分成長できた、城工で学べてよかった、子も親も充実した城工生活を過ごせたとの言葉をいただいた。</li> </ul> <p>第3回 (令和4年2月10日)</p> <p>○R3 年度学校評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度よりも生徒指導、進路指導等で良くなっている。教職員が生徒に寄り添いながら指導されていると思う。これらの教職員の丁寧な指導をどう地域に発信できるかが大切。例えば大学では就職100%のところはない。本校を卒業したらどんなところに行け、どんなやりがいがある仕事に就けるかといったことを上手に発信してほしい。</li> <li>・GIGA スクール構想が始まり、すべての生徒が端末を持っている。教材をはじめとして様々な動画が見られるようにしてほしい。学校 Web ページについても動画を増やしより実感しやすいものにしてほしい。</li> <li>・コロナ禍が収まっても遠隔授業は残ると考える。リアルタイムとオンデマンドの特徴をいかして活用を推進してほしい。</li> <li>・学校のキャラクターを作成中とのことだが、ジェンダーに配慮しながら進めている点はよい。地域連携を活用した SDG s の取組や挑戦中のユネスコスクールの報告書に入れるなど、どんどん活用してほしい。</li> <li>・卒業生の学校に対する思い入れが少ないとの声がある。在校生が愛着を持てるような取り組みを進めてほしい。ユネスコスクールやキャラクターの活用、地域連携や部活動の振興など積極的に生徒の活動を行うことで学校への思いを育ててほしい。</li> <li>・本校のツイッターは情報発信の面が強い。フォロワーが知りたいと思うような面白さが欲しい。生徒も参加して城工の面白さが伝わるような工夫をしてほしい。</li> </ul>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 豊かな人間性・社会性の醸成	<p>(1) 人権感覚豊かな心の育成、社会の秩序・ルールを守る規範意識の醸成</p> <p>(2) 美化・清掃活動の強化</p> <p>(3) グローバル人材の育成</p>	<p>(1) ア・生徒会、部活動部員等生徒を主体とした「あいさつ運動」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻の撲滅をめざし、生活指導部と学年等の連携による早朝登校指導の推進</li> <li>・3年間を見通した人権ホームルーム計画の策定・実施</li> <li>・新入生オリエンテーションで部活動紹介を実施。部活動部員からの勧誘等で部活動加入を奨励</li> </ul> <p>イ・「図書部」を活用した、生徒への啓発活動活性化による生徒読書量の増加</p> <p>イ・教員間の情報共有を密にして、いじめの予兆を察知するとともに、予兆段階から生活指導上の厳しい指導を実施</p> <p>(2) ア・保健部、学年、生徒会等の連携で美化・清掃活動の推進</p> <p>(3) ア・海外高校生との交流実施</p> <p>イ ESD および SDG s を意識した活動を推進することで、地域や世界への関心を高めグローバル感覚を育成</p>	<p>(1) ア・生徒向け学校教育自己診断「あいさつ」肯定的回答90%[91%]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総遅刻数500台をめざす[584]</li> <li>・生徒向け学校教育自己診断の「人権教育の充実」肯定的回答80%を維持[80%]</li> <li>・5月末段階の部活動加入率70%を維持[71%]</li> <li>・年間図書館来館者数の維持、貸し出し冊数の増加[1822人、169冊]</li> </ul> <p>イ・学年連絡会議での定期的な情報交換と、「いじめアンケート」の確実な実施。生徒向け学校教育自己診断「いじめ関連」肯定率80%以上[83%]及び教職員向け学校教育自己診断「いじめ関連」肯定率77%以上[75%]</p> <p>(2) ア・生徒向け学校教育自己診断「校内美化」満足度70%[66%]</p> <p>(3) ア・交流回数2回以上[0件]</p> <p>イ・各教科・各系や特活部でのSDG s を意識した授業や取組の実践</p>	<p>(1)ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ」肯定的回答92.5% (◎)</li> <li>・遅刻数430回[584] (◎)</li> <li>・人権だよりを学期初めに配布。いじめアンケートWeb 回答を試行実施。「人権教育の充実」肯定的回答81% (◎)</li> <li>・部活動加入：運動系255人、文化系110人で加入率70.7% (○)</li> <li>・12月末で図書館来館者数2556人、貸出冊数190冊[1822人、169冊]。図書部：図書館だより9号発行(◎)</li> <li>イ・毎週学年連絡会議で情報交換できている。要支援生徒の把握と教育相談も、組織的に取り組んでいる (○)</li> <li>アンケートは2回実施。予兆察知件数は1件であったが、いじめ対策会議を開催し対応ができた。「いじめ関連」肯定率87.6%[75%] (生徒)、88.1[75%] (教員) (◎)</li> </ul> <p>(2) ア・「校内美化」満足度72.6% (○)</p> <p>(3) ア・エジプトの工業高校とのオンライン交流2件。大阪観光局に依頼し、エジプト人留学生による事前学習も行った。他にも観光局のWeb 交流に登録済 (○)。 <p>イ・SDG s の取り組みは、生徒会2件、機械系課題研究で1件、1年CGと2年企業連携の5件 (◎)。</p> </p>

府立城東工科高等学校

<p>2 確かな学力への取組みと進路保障</p>	<p>(1) 基礎学力の定着と「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業改善の取組み</p> <p>(2) 同僚性を高め、積極的に資質向上に取り組む。</p> <p>(3) 生徒の自己実現への支援</p>	<p>(1) ア・外部テストの全校実施と学力向上への活用 ・生徒の学力向上意識の高揚</p> <p>イ・SDGsを意識したPBL学習について研究・実践を進める</p> <p>ウ・生徒への資格取得の推奨と講習の充実</p> <p>エ・グループウェアの活用とGIGAスクール端末の活用推進</p> <p>オ・英語検定の受検推奨</p> <p>(2) ア・授業アンケート結果及び相互授業参観に基づき、改善方策を検討する</p> <p>イ・経験年数の少ない教員等の学習会や技術力向上の研修会、企業への見学や外部との交流会等を開催し、授業力の向上をめざす</p> <p>ウ・少人数展開教科科目において、担当者同士で授業の進捗や深度などの情報交換を行い、生徒の学習定着度を共有し学力向上方策の検討</p> <p>エ・全校一斉退庁日、ノークラブデーを明確にし、取り組む。また学校保健委員会、安全衛生委員会を活性化させる</p> <p>(3) ア・支援教育コーディネーターと生活指導部・保健部との連携を強化し、配慮を要する生徒へのサポート体制の充実を図る。またカウンセリングマインドを取り入れた生徒指導力の向上を図る</p> <p>イ・3年間を通じたキャリア教育を計画的に推進し、生徒の自己実現を支援する。全教員が進路指導担当であるという意識を醸成し、面接指導等において進路部と学年を中心に連携を強化</p> <p>ウ・保健・安全・衛生管理に関する指導の徹底を図る</p>	<p>(1) ア・外部テストの結果、1年→2年、2年→3年の経年変化によるD3ゾーンの割合減少 [1年40.9% 2年25.8%] ・生徒向け学校教育自己診断「学力の向上」肯定率80%[78%]</p> <p>イ・各教科・各系で教材開発やPBL導入授業の実施。</p> <p>ウ・資格試験受験者数650人以上[709人] 合格率65%[63.8%]</p> <p>エ・各教科や各系でグループウェアおよびGIGA端末を活用した授業や教材研究の実施</p> <p>オ・英語検定の受験者数20名[13名]</p> <p>(2) ア・生徒向け学校教育自己診断「授業はわかりやすく楽しい」肯定率76%[74%] ・授業見学週間の実施</p> <p>イ・公開研究授業や校内研修会等を実施5回以上[5回]</p> <p>ウ・教職員向け学校教育自己診断「創意工夫・評価」肯定率を共に80%以上[95%・65%]</p> <p>エ・一人当たりの平均超過勤務時間数を昨年度より減らす。[24.8h] ・安全衛生委員会を毎月開催[10回]</p> <p>(3) ア・支援教育コーディネーターによる配慮を要する生徒及び保護者への面談を確実に実施[3回] ・相談室を週5日昼休みと放課後開室 ・SSW等による講演会などの校内研修実施</p> <p>イ・生徒向け学校教育自己診断「就職・進学の指導や説明」肯定率87%を維持[87%] ・就職一次内定率80%以上[77.8%] ・年度末の就職率100%維持[100%]</p> <p>ウ・保健部を中心に保健だよりや放送による予防啓発活動の実施</p>	<p>(1)ア・2年生(2020入学)D3ゾーン経年変化は1年65→2年52で27.8%と1年次より減少したが、3年生(2019入学)は2年51→3年61で32.8%と悪化。2年生後半から3年生へ向けて学習意識向上へ指導する。 (○) ・生徒の肯定的回答82.2%(◎)</p> <p>イ・1年キャリアガイダンスでSDGsカードゲームの製作、城工版SDGsポスター制作の教材を作成。工業技術基礎等で「城工電鉄」車両の製作用教材を作成。2年有志の生徒で企業研究とその発表会の実施や課題研究等でPBLについて取組みを進めている。生徒の主体性や表現力の向上につながっている(○)</p> <p>ウ・資格試験受験者数1月時点で624人。合格率63.9%。生徒数が昨年比約150人減少の影響があるものの講習会への参加など意欲的(○)</p> <p>エ・オンライン委員会及びGIGA委員会でグループウェアの教員向け活用講習会を3回実施。授業等での活用が向上している。継続して講習会等を企画していく。(○)</p> <p>オ・英検受験者数延べ3級15名、準2級10名、2級2名の計27名(◎)</p> <p>(2)ア・授業見学週間2回実施(○) 校内研修は5回(○)。 生徒の授業肯定率78.6%(◎) ・研究授業は11月に実施。10月に外部実力テストの分析について校内研修を行った。SSWやGIGA関係と合わせて5回実施。(○)</p> <p>ウ・「創意工夫・評価」肯定率は97%・65.7%[95%・65%]。教員それぞれがPDCAを意識して主体的に取り組んでいく(○)</p> <p>エ・平均超過勤務時間12月末時点で25.9h。コロナ禍で保健所対応等の影響もでている(○)</p> <p>・安全衛生委は10回実施(○)</p> <p>ア・支援Coによる要配慮生徒への面談は確実に実施できている。 ・相談室は週3回開室。相談件数は今のところ0件。 ・SSWを学校独自で6回雇用。校内研修を2回実施(◎)</p> <p>イ・「就職・進学の指導や説明」肯定率89.9%[87%](◎) ・一次内定率84.2%[77.8%](◎) 年度末の就職率100%[100%]を維持(◎)</p> <p>ウ・保健だより10号発行(○)</p>
<p>3 ものづくり・地域連携・キャリア教育の充実と開かれた学校づくり</p>	<p>(1) ものづくりを通じた地域貢献・保護者との連携による地域に根ざした学校づくりの推進</p> <p>(2) 学校の教育活動内容等をタイムリーに府民へ情報発信し、学校PRに努める</p>	<p>(1) ア・生徒による校内企業「城工房」等の地域交流や「企業連携事業」の推進、および各種競技会等への生徒の参加</p> <p>イ・ものづくり教育への理解と深化を図るための保護者対象実習体験や、地元企業見学会の実施</p> <p>ウ・小中学校や行政機関・大学との連携事業の実施</p> <p>(2) ・ホームページを活用して、タイムリーな情報発信に努める ・生徒の出身中学校への訪問、中高連絡会、出前授業などを行い、生徒の情報収集、学校PRを行う ・本校での学校見学会や中学校教員向け説明会などを行い、学校のPRに努める</p>	<p>(1) ア・「城工房」その他による成果発表、種々競技会、産業教育フェア、地域イベント等への参加・実施回数等30回以上[一回] ・企業連携の取組み件数3件以上[3件] ・「城工メッセ」来場者数250人以上 [中止]</p> <p>イ・PTA実習研修、授業見学会、地元企業見学会の実施[企業見学会1回]</p> <p>ウ・小中学生対象の「ものづくり教室」や「出前授業」等の実施[中止]</p> <p>(2) ・ホームページのリニューアルを行い、情報発信の頻度を増加する ・教職員と生徒による中学校訪問件数合計100件以上をめざす[66件] ・学校説明会参加者数、中学校教員向け説明会の参加者を延べ350人以上をめざす(H30 426人、R01 343人、R02 330人)</p>	<p>(1)ア・1月に「城工房」の生徒が東熱科学財団奨学論文奨励賞の研究について第4地区探究発表会(北河内サイエンスデー)にて成果発表。10月東大阪ラグビーの日制定イベント及び12月鶴見イオンモールにもものづくりブース出展。2年有志による企業連携事業参加。電気工学部のマイコンカーラリー全国大会、マイクロマウス全国大会出場。自動車部エコデンカーレース全国大会出場や吹奏楽部が鶴見商業施設で演奏会などコロナ禍で影響ある中で部活動や有志で生徒が活発に活動。25回(○) ・「城工メッセ」コロナ禍により中止。コンソーシアムの新しい形を現在検討中で、次年度に繋げたい。(一)</p> <p>イ・PTA実習研修・授業見学は中止。企業見学会は11月に2回実施(○)</p> <p>ウ・中学への出前授業は5回実施(○) 今後はHPやSNSでも募集をかける。</p> <p>(2)・HPのリニューアルを実施。さらに公式SNSアカウントを立ち上げた。情報発信の頻度を高めていく(○) ・中学校訪問件数はコロナ禍で66件。 ・説明会参加申込み者数361人。第5回コロナ禍で中止。実数282人(○)</p>